

スカウト おおいた

第56号

2020年 1月12日 発行
日本ボーイスカウト大分県連盟
編集 県連総務委員会

新年ご挨拶

公益社団法人

日本ボーイスカウト大分県連盟

理事長 戸高有基

三指

令和2年(2020年)の年頭に当たりご挨拶を申し上げます。皆様には、新たなお気持ちで初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、5月の新天皇の御即位に伴い令和へと元号が代わり、また「即位の礼」

から11月の「大嘗祭」まで一連の儀式が行われました。「御列パレード」では赤坂御所前でボーイスカウト・ガールスカウトがお祝いのお迎えをする姿が報道されていました。大正・昭和・平成・令和と皇室のスカウト運動へのご理解とご支援に感謝したいと思います。

育成会をはじめ保護者・団委員会・隊指導者の皆様には、平素よりスカウト運動へ多大のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、大分県連盟は70周年を迎えての記念



事業として久住・沢水で野営大会を開催いたしました。

県下のスカウト達が合同隊並びに班を編成し、日頃の活動の成果を基にお互いが切磋琢磨して4泊5日の日程でウッドクラフトや野外プログラムへ取り組みを行いました。

カブ・スカウト、ビーバー・スカウトも一日参加して高原での活動に頑張りました。

会場において、広瀬連盟長の下、70周年の記念式典も挙行できました。久しぶりの野営大会運営が、スカウトの成長のみならず指導者の組織運営・技能向上にも成果があったと思います。

また、アメリカ合衆国ウエストヴァージニアで開催された24回世界スカウトジャンボリーには、隊長以下9名のスカウトが日本派遣団の一員として参加しました。素晴らしい体験と思い出を残されました。これからも引き続き活躍して戴けることと思います。

2年後の令和4年(2022年)は、日本連盟100周年を迎えます。「継続は力」と謂われます。少子化が急激に進む中、この運動を通して青少年の健全なる育成に寄与できるように努めて参ります。

皆様方には、スカウト運動に対して変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

弥栄

進級章〔菊・富士章〕 交付

富士スカウト章・菊スカウト章を取得された方々です。誠におめでとうございます。

富士スカウト章

山形 望仁 大分第2団

菊スカウト章

伊藤 輝子 大分第1団



第37回暴力絶滅おおいた市民大会

実施日：10月27日（日）

実施場所：大分市若草公園

「暴力のないまち

よいまちのびるまち」

を築くことを目的とする大会に毎年奉仕を行い、スカウト・指導者49名が参加した。

横断幕や各団体のプラカードを掲げ、市民に大会の主旨をアピール、呼び掛けを行った。



ウッドバッジ研修所課程別研修

ボーイスカウト課程大分第1回

実施日：10月27日（日）

実施場所：大分県森林作りボランティア
支援センター

10月27日（日）大分県森林作りボランティア支援センターにてウッドバッジ研修所課程別研修BS課程大分第1回が開催されました。

宮崎県から4名・大分県から5名の参加者で、一日座学での講義でしたが、講師陣の創意工夫で最後まで充実した研修となりました。



第27回ボーイスカウト講習会

実施日：11月10日（日）

実施場所：大分南部公民館

11月10日（日）大分南部公民館にて第27回ボーイスカウト講習会が開催されました。

参加者は8名19歳から62歳まで幅広い年齢層でした。主任講師を中心に講師と奉仕者11名での開催で、最後まで和やかな雰囲気でした。



第6回ビーバーフェスティバル

実施日：令和元年11月4日（月・祝）
 実施場所：大分県護國神社
 参加者：スカウト・指導者、保護者 93名



大分県連盟第6回ビーバーフェスティバル「むかし むかし あるところに・・・」をタイトルにして、護國神社の境内に県下ビーバースカウトが集い、多くの仲間と共に活発な活動で交流を深めた。一般参加者を対象にボーイスカウト説明会が開催され組織拡充の取り組みも行われた。



大分県連盟今後の予定

1：ボーイスカウト大分県連盟創立70周年を記念してBP祭を開催します。(計画案)

開催日時：令和2年2月23日(日) 天皇誕生日 09:00~17:00

開催場所：式典・第2部・・・ビーコンプラザ 国際会議室(別府市)

場外プログラム・・・事前に各団・各隊・各班で選択した、別府市内の場外プログラムに参加する。

内 容：第1部 BP祭セレモニー

- ・BPへ献花
(各団代表スカウト等)
- ・ビーバー隊「きまり」の唱和
- ・カブ隊「さだめ」の唱和
- ・ボーイ隊以上「おきて」の唱和
- ・ソング「世界の総長」を
全員で歌う

第2部 BPと県連70周年のあゆみ

第3部 場外選択プログラム

- ① 別府地獄めぐりツアー(観光バスツアー)
- ② APU・別府大学見学ツアー(路線バス)
- ③ ケーブルラクテンチツアー(徒歩)

せかい そうちよう
世界の総長 (曲：アニーローリー)

1. 我ら^{われら}を結び 同胞^{どうぼう}とし
導^{みちび}き教えし ロード・ベアデン・パウエル
今は天^{あま}に 居^い給^{たま}えども
いつのいつまでも 世界^{せかい}の総長
2. 若^{わか}き者^{もの}らを 森^{もり}に輝^{かがや}し
力^{ちから}を与^{たま}えし ロード・ベアデン・パウエル
今^{いま}もここに 共^{とも}に語り
共^{とも}に歌^{うた}うたう 世界^{せかい}の総長
3. 友^{とも}と語^{かた}らい テント^{てんと}肩^{かた}に
野^の山^{やま}に分^{わか}け入り 草^{くさ}に座^まして
新^{あたら}しを燃^もせば あゝ轟^{とどろ}わし
同^{どう}じ火^ひを焚^{たき}し 我^{われ}らの総長





2：大分県連盟防災フェスティバルを開催します。(計画案)

開催日時：令和2年3月14日(土) 10:00~15:00

開催場所：大分市「竹町ドーム広場」

内 容：① 防災体験コーナー(起震車)

- ② 救急・救護コーナー(救急法・応急救護・ロープワーク・グッズ作り)
- ③ 防災クイズ・ゲーム(ブロック積み上げ、防災キムス)
- ④ 防災紹介コーナー(防災について各種紹介)
- ⑤ ボーイスカウト体験・紹介コーナー



※ 上記各行事の内容は計画段階であり、内容の変更がある場合があります。

各団活動

杵築第1団

11月の隊集会は、杵築市の地元の方々の竹林整備事業のお手伝いにて、近隣奉仕でした。番所の坂…杵築城下町にはいくつかの坂がありますが、ここは武家屋敷へと向かう入り口。観光などのお客様や地元の方々の大切な坂道です。

スカウトたちは、竹林から切り出された竹を粉碎機のある集積場所へ運ぶお仕事でした。自分たちのふるさとを守ること。

多くの方々が実践されている活動に微力ながら参加させていただき、良い実践の機会をいただき感謝します。解散のときのスカウトたちの笑顔…良い時間でした。



別府第9団

別府9団では4月6日(土)、桜が満開の南立石公園にて、上進入隊式を行いました。

日暮れに優しく厳かな明かりが照らす中、ベンチャー隊2名、ボーイ隊2名、カブ隊3名、そしてピーパー隊では仮入隊を含め6名の新入隊を迎え、嬉しく弥栄を唱えました。

令和元年、別府9団の43期は元気にスタートしました。



由布第2団

去る11月9・10日、2日間挾間町で行われた「きちよくれ祭り」地元の祭りでのPR!

由布第2団はブースを持ち、多くの方が訪れました。

スカウトたちも自主的に説明や体験活動などを行い、有意義な広報活動となりました。



大分第1団

大分第1団 秋の恒例行事の団登山は、今年は九州オルレ奥豊後コースのハイキングに決定しました。指導者による入念な下見の結果、予定した日(11月23日)に観光協会実施の九州オルレフェアに参加することになりました。ピーパースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト、ベンチャースカウト、指導者 合計33名を3つの縦割り班に分け、それぞれの班をベンチャースカウトが中心になって歩きました。



大分第2団

初めて乗る別府湾清掃船に興味深々のカブスカウトたち。「あっ、ビニール袋が浮いてる!」とゴミを見つける度に大騒ぎ。次は海岸清掃の集会を行う予定です。「スカウト活動で地球を守ろう!」につなげていきます。



大分第5団

9月15日スカウトの日に、坂ノ市公民館の清掃をしました。

いつも使わせていただいている公民館に感謝しながら、各隊スカウト、指導者で清掃をし多くの落葉やごみを回収しました。



ビーバー隊・カブ隊は猪野にあるう〜たの里で縄文時代の体験をしました。

麻布に、自分たちでデザインして着用し石斧で木を切り倒したり、どんぐりの粉で作ったパンと、猪鍋を美味しくいただきました。



大変貴重な体験をさせていただきました。

大分第9団

護国神社の境内で、いろいろなことに挑戦しています。今回は、大野川の石ころをたくさん運び「ストーンバランス」「石ころアート」などの楽しい集会です。



津久見第1団

「みんなでつながろう!」

秋の恒例行事と言えば、団キャンプ・カントリー大作戦・ふるさと振興祭!

楽しい団キャンプでは、保護者―スカウト―リーダーがつながり、カントリー大作戦では、地域とつながり、ふるさと振興祭では市民たくさんの方々とつながる・・・ことを願って楽しい活動に取り組んでいます!



お詫びと訂正

広報誌「スカウトおおいた 第55号」の記事中、ベンチャースカウト代表の所属・氏名を誤って逆に表示記載していました。

誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。